

活動日時	令和〇年〇月〇日 (〇) 10:00~11:30		
活動内容	「はじめましての会をしよう～学校探検をして遊ぼう～」		
活動場所	小学校体育館・中庭・運動場		
対応職員人数	(保) 主任・年長児担任2名・支援補助教諭2名 計5名 (幼) 園長・年長児担任2名・支援補助教諭1名・バス運転手1名 計5名 (小) 1年生担任2名・支援学級担任2名・教務・校長 計6名		
	保育所(園)・幼稚園 ■幼児の活動 □教師の援助	時間・内容	小学校 ■児童の活動 □教師の援助
保幼小名学年人数	○○保育所 年長児〇名 ○○幼稚園 年長児〇名	【事前確認・準備・持参物・配慮事項等】 小学校 ・1年生と幼児のペア名簿を作成し、幼稚園に送付 保育所・幼稚園 ・幼児名簿を事前に送付 ・上靴、水筒持参 ・バスの乗降場所の確認	1年1組 〇名 1年2組 〇名 ・自分より年下の幼児との活動を通して、思いやりの心をもつ。
当日のねらい お互いのねらいを共有する	・1年生と学校探検をして楽しく過ごす。 ・小学校のいろいろな施設を知ること、小学校への興味・関心をもつことができるようにする。		事前準備を確認する
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有する	【活動で予想される「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】 ・健康な心と体 ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・言葉による伝え合い		
直前に情報共有が必要なことを確認する	□欠席児の状況など、小学校と連携を事前にとっておく。 ■自分の靴や水筒を所定の場所に置く。 □小学校の体育館の様子や雰囲気や安心できるように教師が傍にいたり、言葉かけをしたりする。 ■戸外へ移動する。 ■ペアの友達と体を伸び伸ばしと動かし、運動場にある遊具に挑戦する。 □小学生と幼児のペアでの活動を意識できる言葉かけをしたり、コミュニケーションの仲立ちをしたりして、互いの気持ちが表せるようにする。 □水分補給の言葉かけをするなど体調面に留意する。	10:10～ 小学校到着 1. はじめの言葉 2. 1年生がペアの幼児の名前を呼んで自己紹介 3. 中庭と運動場の紹介と約束 (トイレ・お茶タイム) 10:30～ 戸外活動 4. 中庭に行こう 5. 運動場で遊ぼう 活動の進行をどちらが主となって進めるのか役割分担を明確にしておく	□欠席児の状況など、幼稚園と連携を事前にとっておく。 ■幼児に分かりやすく伝えるために、ゆっくりと話す。 □幼児に寄り添った言動をするように言葉かけをする。 ■戸外へ移動する。 □集合場所・水筒置き場を伝える。 ■ペアの幼児に遊具などを紹介し約束を守り安全に気を付けて遊ぶ。 □遊び方に注意を払う。コミュニケーションがうまくとれない児童には必要に応じて言葉かけをし、支援をする。 □水分補給を適宜するように言葉をかける。
活動の流れ			

	<p>■はじめの場所に並ぶ。 □交流会を振り返られるような投げかけをし、感じたこと、考えたことを発表できる雰囲気をつくる。</p> <p>■お礼の言葉や挨拶をする。 □交流会での感謝の気持ちが伝えられるように言葉かけをする。</p>	<p>11:20～ 終わりの会</p> <p>6. 振り返り、感想</p> <p>7. 終わりの言葉</p>	<p>■終わりの会で振り返りや感想を言う。 □国語科での学習を生かし、理由を述べてできるだけ詳しく言えるように励ます。</p> <p>■「ありがとう」の気持ちがかもった挨拶をする。 □今日の姿を認め、評価し、今後の励みとなるようにする。</p>
--	--	---	--

活動を教育課程に位置付ける

<p>教育課程の位置付け</p>	<p>(保・幼)「学校探検をして遊ぼう (はじめましての会)」 (小) ★生活科「なつがやってきた」 国語科「ぶんをつくろう」「わけをはなそう」「おもいだしてはなそう」 体育科「固定遊具を使った運動遊び」</p>
------------------	--

<p>事後の振り返り</p>	<p>○月△日(交流の翌日)於:小学校 【保育所(園)・幼稚園】</p> <p>○ 小学校での活動を体験したことや、小学生や先生方と直接触れ合ったことなどで小学校入学への不安感が減り、期待の気持ちをもつことにつながった。保護者に交流の様子を伝えることで、保護者の就学への不安感も減った。</p> <p>○ 今回は出会いの会だったので、幼児用にも名札が必要と考え、準備したことで、お互いが名前を呼び合うことができ、親近感が深まった。</p> <p>【小学校】</p> <p>○ 年下の子どもたちと交流することで、同学年と行うときよりもあきらめずに取り組む姿や、優しく接する姿が随所に見られ、心の成長を感じることができた。</p> <p>○ 交流当日の幼児の様子や幼稚園教師の幼児への言葉かけなどから、入学前の幼児の実態を知る大切な機会になった。</p> <p>○ 事前に「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を共通理解したことで、交流場面においても育まれる姿が小学校へつながっていることが分かった。</p> <p>【共通】</p> <p>○ 事前の打合せをすることで、ねらいや活動内容、援助について確認でき、当日は、きめ細かな指導ができた。幼児・児童ともに充実した交流の時間となった。</p> <p>○ 事後の振り返りで、幼稚園・小学校の教師が、写真を見ながら子ども同士の関わりや成長を多角的な視点から出し合い、共有することができた。お互いに「円滑な接続」に向けての交流活動となったことを確認することができた。</p> <p>○ 教師同士の話し合いや子どもたちの交流を通して、お互いの子どもの発達段階や保育・教育内容等を知ることができた。</p> <p>● 次回11月の交流活動に向けて、子どもの気持ちを持続させるための工夫が必要。→ペアの友達の写真掲示、お礼の手紙など。</p>
----------------	--

- ・振り返りを次の連携活動に生かす
- ・お互いの子どもの学びや育ちについての理解を深める
- ・記録に残し、次年度に引き継ぐことができるようにする